

報道関係者各位
プレスリリース

2011年3月1日
ジェイサート株式会社

ジェイサート、「スターフィールド SSL」活用による IP アドレス枯渇問題への対応を提示

「1枚」のマルチドメイン証明書やワイルドカード証明書が「複数」サイトの暗号化を実現

ジェイサート株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：石原 章年 以下、ジェイサート)は、世界最大の認証局である米国 Go Daddy 社が発行する「スターフィールド SSL」のマルチドメイン証明書やワイルドカード証明書の活用が、現在枯渇に直面している IPv4 アドレス問題への有効な対応手段であることを発表いたします。

「スターフィールド SSL」詳細：<http://www.jcert.co.jp>

IPv4 アドレスについては 2011 年 2 月 3 日、グローバルで IP アドレス資源を管理している IANA(Internet Assigned Numbers Authority)の「中央在庫」が枯渇しました。今後は、世界 5 地域の地域インターネットレジストリ(RIR)に残っている在庫も 2012 年までに枯渇するものと想定される一方で、次世代の IPv6 アドレスへの完全移行には 10 年を超える長い時間を要するとの観測があります。これに照らせば、現存する IPv4 アドレスの「無駄遣いの抑制」と「有効利用の徹底」の 2 点の早急な対応が望まれます。

SSL サーバ証明書の利用については、証明書毎に IP アドレスが必要となることから、従来国内で多用されてきた「シングルドメイン」証明書(1枚の証明書で1つの HTTPS サイトのみに対応)を利用する場合、HTTP サイトに加えて HTTPS サイトの数だけ IP アドレスが別途必要となり、IPv4 アドレスの消費を早める一因となっておりました。

ジェイサートが提供する「スターフィールド SSL」は、物理サーバが同一であれば、1つの IP アドレスの配下で、異なるドメイン名を持つ複数の HTTPS(ヴァーチャル)サイトの暗号化通信を可能にする「マルチドメイン」証明書や「ワイルドカード」証明書をご用意しておりますので、IPv4 アドレスの無用な消費を気にすることなく、暗号化すべきサイトを HTTPS 化することが出来ます。

このことから、「スターフィールド SSL」の活用は、今後直面する IP アドレス枯渇問題への有効な対応手段といえます。

「IP アドレス枯渇問題」による影響の全容については、未だ十分に明確にはなっておりません。しかし中期的には IPv4 アドレスの価格への影響も取りざたされており、IPv4 アドレスの「無駄遣いの抑制」と「有効活用の徹底」については、様々な方策とその効用につき検討しておくことが必要であろうと考えられます。



【Go Daddy Group, Inc. 会社概要】

代表 : CEO & Founder Bob Parsons

本社 : 米国アリゾナ州スコッツデール

年商 : 750 億円(2009 年実績)

URL : <http://www.godaddy.com>

事業概要 :

- 1.ドメインレジストラ事業(世界最大 4,000 万ドメイン)
- 2.ホスティング事業(世界最大 400 万アカウント)
- 3.SSL 証明書事業(世界最大 50 万ライセンス シェア 30%)

【ジェイサート株式会社 会社概要】

代表 : 代表取締役 石原 章年

本社 : 〒102-0082 東京都千代田区一番町 4 番 22 号 プレイアデー番町 6 階

資本金 : 7,600 万円

URL : <http://www.jcert.co.jp>